

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 札幌交響楽団
公演団体名	札幌交響楽団

演目
♪J. シュトラウス／ラデツキー行進曲 ★楽器紹介コーナー①～弦楽器 ♪モーツァルト／「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章 ★楽器紹介コーナー②～木管・金管・打楽器&ハープ ♪チャイコフスキー／バレエ「くるみ割り人形」より“花のワルツ” ★楽器体験コーナー ★指揮者体験コーナー ♪ブラームス／ハンガリー舞曲第5番 ★みんなで歌おう～訪問校校歌 ♪外山雄三／管弦楽のためのラブソディ

派遣者数
指揮者：1名 オーケストラ：58名 スタッフ：9名 計 68名

タイムスケジュール（標準）
9：00頃～ 楽器搬入・セッティング
11：30頃～ リハーサル
13：30頃～14：45頃 演奏会
17：00頃 撤収完了 ※各開催校のご都合に合わせて調整します。

実施校への協力依頼人員
特に必要ありませんが、事前をお願いする借用物（パイプ椅子、長机等）を会場にご準備頂くこと、楽団員の控室のご用意をお願いします。 また、楽器搬入や楽団員の会場入りの際に、車両進入経路のご案内や、児童生徒の安全確保について、ご協力をお願いすることがあります。

演目解説

♪ラデツキー行進曲

誰もがご存知のメロディー、会場のみなさんの手拍子と一緒に、楽しいコンサートの幕開けです。

♪楽器紹介コーナー① 弦楽器～「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」第1楽章

オーケストラを構成する全ての楽器を順番にご紹介します。まずは4種類の弦楽器から。それぞれの共通点・相違点を感じて頂き、それらが一体となった時の音の重なりや役割がよくわかるように、弦楽合奏曲を聴いていただきます。

♪楽器紹介コーナー② 管打楽器&ハープ～「くるみ割り人形」より“花のワルツ”

続いて管楽器と打楽器です。個性豊かな音色や音の出る仕組みを持つ木管楽器、唇を震わせてその振動を楽器に伝えることで音を出す金管楽器、たくさんの打楽器について、それぞれの魅力を最大限に発揮できるパフォーマンスをお楽しみ頂きます。最後に、子どもたちの憧れの的であるハープをご紹介し、その華麗なカデンツァで始まる「花のワルツ」を聴きながら、各楽器のおさらいです。

♪楽器体験コーナー：歌劇「カルメン」“トレアドール”

みなさんにとって身近な大太鼓とシンバルの演奏で、オーケストラの演奏に参加して頂きます。

♪指揮者体験コーナー：ハンガリー舞曲第5番

オーケストラでの演奏に必要な最後のひとり、「指揮者」の役割をご紹介しますとともに、児童生徒の代表に、実際にオーケストラの指揮をしていただきます。お馴染みのメロディーである「ハンガリー舞曲第5番」が、指揮者によってどんな風になるのかを楽しんで頂きます。

♪みんなで歌おう～訪問校校歌

訪問校の校歌をフルオーケストラ伴奏にアレンジして、児童生徒の合唱と共演します。いつも歌っている校歌が、いつもより豪華に聴こえることでしょう。

♪管弦楽のためのラブソディ

プログラムの最後を飾るのは、日本民謡のメロディーと西洋オーケストラの鮮やかな響きが融合した作品です。拍子木やウチワ太鼓、締太鼓、チャンチキなど、日本の伝統打楽器が大活躍します。リズムカルで即興的な雰囲気、コンサートのフィナーレを華やかに締めくくります。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

* 一緒に手拍子

コンサートのオープニングとアンコールでは、演奏に合わせて手拍子をして頂きます。楽しいコンサートはみんなで一緒に作るものだと感じてもらい、公演に積極的に参加してもらえる雰囲気を盛り上げます。

* 楽器体験コーナー

有名なオペラ「カルメン」の1曲を使って、児童生徒の代表者に大太鼓、シンバルの演奏でオーケストラに参加して頂きます。打楽器奏者がお手本演奏をしてから、横について指導しますので、誰でも楽しく体験することができます。

* 指揮者体験コーナー

児童生徒の代表者に、実際にオーケストラを指揮して頂きます。指揮者としての技法やステージマナーなどを楽しいトークで解説しながら進めますので、体験する児童生徒だけでなく、会場の皆さんも一緒に楽しむことができます。

* 訪問校校歌

訪問校の校歌をフルオーケストラ伴奏にアレンジして、みなさんの合唱と共演します。いつものピアノ伴奏とは違う新鮮な気持ちで自分たちの校歌に向き合えると思います。

児童生徒とのふれあい

* 開演前や終演後に、楽団員が会場内を回って、楽器を近くで見てもらったり、実際に触れてもらいます。

* 吹奏楽部員や楽器を習っている児童生徒からの質問を受け付けたり、ワンポイント指導もいたします。

